

平成 28 年 7 月 26 日

研究公開用文書

研究名： 感染制御専任薬剤師の配置による抗菌薬適正使用に対する臨床的アウトカムの検討
研究の概要： 現在、各病院は「感染対策加算」を算定するためには薬剤師を 1 名、専任として配置しなければなりません。薬剤師を配置することにより、消毒薬や抗菌薬等の適正な使用が促されるためであると考えられます。 しかし実際に薬剤師を配置した場合、どれくらいの効果があるのかという検討は今まであまりされてきませんでした。本研究では、専任の薬剤師を配置することによる臨床的な影響について調査いたします。 患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡下さい。拒否された場合、患者さんにとって不利益になることは一切ございません。また、この研究のために患者さんの負担や危険が増えることはございません。
研究対象： 2011 年 4 月～2015 年 3 月に当院に入院し、注射用抗菌薬を使用した患者さん
研究責任者： 横浜市立大学附属病院 所属：薬剤部 氏名：岡村 央
研究実施期間： 平成 28 年 9 月許可日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日
連絡先： 横浜市立大学附属病院 所属：薬剤部 氏名：岡村 央 〒：236-0004 住所：神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9 電話：045-787-2800